

## 新年のご挨拶 - 仕事始め式スピーチ -

2022年（令和4年）1月4日

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナウィルスの猛威の中で大変な一年間でした。職員の皆さんもご利用者をコロナ禍から守るために全力を投入、万全の体制でご利用者に1人の感染者も出さずここまで施設を守っていただきました。ただ年末から年始にかけて新型コロナウイルスの発生が続き、予断を許さない状況です。引き続きみんなで協力し、厳戒態勢で対応していきますでしょう。



社会福祉法人  
九州キリスト教社会福祉事業団  
理事長  
富永 健司

コロナ禍は社会経済に大きな影響を与えました。中でも観光、医療、運輸、飲食、販売業界は深刻な打撃を受けているようです。福祉も例外ではなく、いずみの園の今年度11月末現在の事業収入は前年対比3千8百万円、3.67%の減収となっています。昨年度2020年決算では1年間で、前年対比3千2百万円の減収ですから、合わせると7千万円の減収となります。非常に厳しい数字が出ていますが、残る3か月経費節減に努め何とかこの難局を乗り越えていきたいと願っています。

国は今年度2021年度介護報酬の改定でプラス0.70%(196億円)、障がい福祉はプラス0.56%(86億円)とし、職員の待遇改善、給与改定にも力を入れています。今日福祉の人材不足が大きな課題となっていますが、学研教育総合研究所の調査によると「高校生が将来就きたい職業」で福祉は、全体で8位、女子高生は5位、高校3年生の女子は2位という結果が出ていました。また、全国経営協の調査では、日本の全産業の離職率は15.6%ですが社会福祉法人の離職率は11.7%でした。「人の幸せづくり」「やりがいのある仕事」福祉が社会で認められている数字だと思えます。

2021年度の重点課題は

### ①コロナ禍対策

- ・ コロナ感染対策の強化、職員家族の感染防止
- ・ 専門知識の向上、専門医による指導
- ・ 感染・災害時の業務継続計画（BCP）

### ②本館建築準備委員会

- ・ 22年建築に向けて本格始動

- ・新時代の老人ホーム AI、ICT、ロボット

### ③介護報酬改定への対応

- ・科学的介護推進体制加算 自立支援促進加算 LIFE
- ・口腔・栄養スクリーニング加算 夜勤職員配置加算

### ④福祉のまちづくり構想

- ・福祉のまちづくりの概要・方向性の研究、先進地視察、経営企画課
- ・行政、医療、商工会議所、自治会、警察、消防、学校他諸団体との連携
- ・施設内の連携 本部、地域包括支援センター、基幹相談支援センター  
地域公益課、かきぜサポートセンター、中央サポートセンター
- ・地域公益課 生活困窮者、8050問題、引きこもり、就労支援
- ・認知症対策 オレンジカフェ、徘徊模擬訓練、地域講演会・研修会
- ・子ども子育て 子ども食堂、グレース保育園との連携

### ⑤人材確保、働き方改革の推進

- ・WLBの推進
- ・人材育成・研修センター アクティブシニア(元気老人)の参加
- ・小中高生体験学習教室

本年度の重点課題を再度見直し、達成に向けて頑張ります。制度事業の更なる推進と「福祉のまちづくり」に大いに寄与できる、公益性の高い経営組織「いずみの園」を目指します。いずみの園43年の歴史に誇りと責任をもって、新しい1年みんなで力を合わせて頑張らしましょう。